



特別
リ 5
2432
1



75
12432
1

豊臣紀自序

夫惟海子天下國家之安危ハ唯明闇二君之方
寸らり出て東南西北の正急くよきて善政
悪政其よ不正物なりたとハ周之乱臣十人紂
之徒億万路之徒九千其類善類悪世よ殊
るり黙して知へ——王侯らり士庶人よ至不
まて治世乃長短ハ天をよ合と不^{カテ}合との二致^テ
のよ此其箇も亦我心の在明闇九分と痛ま
まじろ病因ハ身と安とんと思ふるの理よあ
くくさるに胎^ハ之貪欲よ苗——て終よ末業

二七

三

乱風子落と老の宣不敬乎不敬乎

于時寬永二曆孟春日

凡例

一 靡衣着^{ホラセシ}及^シ魚^{アサギ}心^{ココロ}一^ツけ^ケは^ハ天下^{テンカ}太平^{テイヘイ}の^ノ久^{キウ}久^{キウ}一^ツ方^{カタ}り^リと^トも^モや^ヤ故^コ又^{マタ}秀^{ヒデ}者^{モノ}公^{キミ}事^{コト}も^モ善^{セン}と^トも^モ一^ツ悪^{アク}と^トも^モ一^ツ記^キス^スヲ

一 信^{シン}長^{チヤウ}秀^{ヒデ}者^{モノ}二^ニ三^ニと^トも^モ下^カ子^シ孫^ソ又^{マタ}傳^{ツタ}へ^ル久^{キウ}一^ツく^ク清^{セイ}ら^ラし^シる^ル事^{コト}ハ^ハ創^{ソウ}業^{ゲツ}之^ノ智^チ者^{モノ}秀^{ヒデ}者^{モノ}の^ノ一^ツた^タカ^カ文^{ブン}之^ノ子^シ勤^{キン}め^メさ^サり^リ一^ツた^タか^カま^マら^ラん^ンり^リ因^{イン}之^ノ一^ツ物^{モノ}者^{モノ}附^{ツキ}又^{マタ}此^{コノ}礼^{レイ}之^ノ後^{ノチ}雅^ヤき^キと^トも^モ学^{ガク}ぶ^ブる^ル可^コ能^ネ入^イ階^{カイ}材^{サイ}と^トも^モ一^ツ守^{シウ}毫^{コウ}分^{ブン}高^{コウ}行^{コウ}道^{ドウ}之^ノ一^ツ物^{モノ}の^ノ一^ツた^タか^カま^マら^ラん^ン也^ヤ

一 教^{キョウ}者^{モノ}即^{ソク}と^トも^モ一^ツ凡^{ボウ}俗^{ソク}と^トも^モ一^ツ教^{キョウ}と^トも^モ一^ツ世^セの^ノ一^ツ也^ヤ

大旨九同

一 戒 ^{イニシメ} 多 ^シ 事 ^ハ 甚 ^シ 民 ^ヲ 養 ^フ
 小 ^ハ 多 ^シ 事 ^ハ 甚 ^シ 民 ^ヲ 養 ^フ
 利 ^ハ 多 ^シ 事 ^ハ 甚 ^シ 民 ^ヲ 養 ^フ
 西 ^ハ 多 ^シ 事 ^ハ 甚 ^シ 民 ^ヲ 養 ^フ
 一 正 ^ニ 事 ^ハ 甚 ^シ 民 ^ヲ 養 ^フ
 一 初 ^ニ 事 ^ハ 甚 ^シ 民 ^ヲ 養 ^フ
 一 能 ^ニ 事 ^ハ 甚 ^シ 民 ^ヲ 養 ^フ

一 退 ^ク 國 ^ニ 處 ^テ 正 ^シ 事 ^ハ 甚 ^シ 民 ^ヲ 養 ^フ
 一 勇 ^ニ 事 ^ハ 甚 ^シ 民 ^ヲ 養 ^フ
 一 大 ^ニ 事 ^ハ 甚 ^シ 民 ^ヲ 養 ^フ

或問

或 ^テ 問 ^フ 下 ^ニ 考 ^ス 者 ^ハ 政 ^ニ 度 ^ニ 合 ^ス 配 ^ス 乃 ^チ 事 ^ハ 甚 ^シ 民 ^ヲ 養 ^フ
 對 ^シ 曰 ^ク 是 ^ハ 富 ^ニ 事 ^ハ 甚 ^シ 民 ^ヲ 養 ^フ
 一 上 ^ニ 目 ^ヲ 養 ^フ 一 能 ^ニ 事 ^ハ 甚 ^シ 民 ^ヲ 養 ^フ

年歲の同由に^{ホウケラニ}は揚曰とせも一とてふらんを
 為るゑあるんり。其曰るやうの國であるなり。
 たるの力^{ワキサレ}脇指の勢^{ヨキ}を為るゑんとすの如く勢^{シキ}と
 力を^{モト}求むゆんよの如く又次々大勢^{ウラ}平三を以てん
 とせば必ずしも海へ一古語も他^ホ地^チ則^ニ家^カ
 物^{モノ}智^チ外^{ガイ}不^フ家^カ知^チとあるは^{マク}務^ムしてよらんを約
 行^{ユク}らんともなはば先^マの如^ニゆへに人^{ヒト}故^コ擧^トひ出^デす。
 其^{コト}は^{コト}活^{カク}まぬひなえ^{ヨロ}一^{ヒト}かへ一^{ヒト}なみ^{ナミ}の
 を習^{ナラ}ふ人^{ヒト}を^{ケンテリ}愛^{アイ}指^{サシ}乃^ハ人^{ヒト}の^カ志^シ前^マそ^ト云^クま^ルに^ハの
 かり^チ指^{サシ}人^{ヒト}乃^ハ地^チ位^イを^チ人^{ヒト}の^カ大^{ダイ}勢^{セイ}世^セの^カ業^ノも^トつ^クた

之^{コト}の^カ仕^シ事^ジも^トあ^リど^ウり^テ法^{ホウ}人^ニ志^シ別^{ベツ}と^スま^シ
 の^カあり^テた^ラん^カ人^ニの^カ志^シを^チ疑^ウく^カら^ズん^カ新^{シン}勢^{セイ}
 あり^タり^シ。法^{ホウ}侯^{コウ}大^{ダイ}丈^{ジョウ}也^ニた^ラん^カ一^{ヒト}く^ハ法^{ホウ}之^ノあり^タる^カ
 大^{ダイ}組^{クミ}付^{ツキ}が^トも^トい^ハら^リ。多^タく^ハい^ハま^シま^シと^シて^ハい^ハら^リ
 法^{ホウ}才^{サイ}の^カ或^ハ極^{キョク}密^{ミツ}と^スり^シ。都^ツの^カ志^シを^チ世^セ流^{リウ}う^ルま^シ
 とも^トい^ハふ^カ。或^ハ田^{デン}全^{ゼン}た^ラん^カ一^{ヒト}朋友^{トウユウ}の^カ勢^{セイ}内^{ナイ}を^チ流^{リウ}う^ルま^シ
 流^{リウ}う^ルま^シる^カ一^{ヒト}か^ラん^カ一^{ヒト}か^ラん^カ。や^ウ此^{コノ}人^ニ志^シ
 中^{チュウ}少^{ショウ}く^ハ勝^{シヨウ}を^チ能^ス人^ニも^トい^ハへ^ル。其^{コト}は^{コト}危^キ難^{ナン}難^{ナン}
 信^{シン}が^トも^トい^ハふ^カも^トい^ハら^リ。一^{ヒト}か^ラん^カ一^{ヒト}か^ラん^カ。ま^シた
 親^{シン}り^シと^スま^シる^カ。教^{キョウ}者^{シャ}即^{ソク}教^{キョウ}下^カ勢^{セイ}乃^ハ中^{チュウ}流^{リウ}う^ルま^シる^カ

後考左、鉄炮をり、乃内より信長云、其、考を
と、の、盤、鉄炮をり、乃内より信長云、其、考を
い、の、國、探、御、上、補、一、海、川、を、乃、日、を、年、將、軍、代、を
心、を、あ、て、う、を、せ、け、ひ、き、い、ま、な、い、一、ま、ん、よ、う、の、心、を
乃、や、う、う、と、う、て、あ、ら、ん、の、

或、同、考、者、ら、し、付、較、又、三、天、海、川、有、て、海、を、北、を、東
乃、及、或、強、付、或、金、突、た、し、せ、れ、け、う、も、か、ら、い、こ
う、い、あ、て、は、切、さ、ひ、ん、き、お、と、た、い、一、ま、の、重、
て、き、り、一、也、強、う、よ、ひ、は、制、禁、力、較、も、う、け、せ、た、
海、河、外、を、よ、移、う、と、も、い、を、す、け、り、人、松、り
一、う、た、よ、は、よ、乃、を、い、つ、り、ゆ、う、あ、ら、ん、喧、嘩、は、備、と

云、は、信、り、形、く、オ、切、火、付、た、し、の、一、心、お、ろ、も、り
海、一、絶、た、り、一、也、唯、恨、を、乃、士、北、氣、味、の、み、考、う
未、多、ゆ、一、て、法、士、心、分、毫、も、利、又、考、一、担
南、丈、又、似、う、り、事、を、

或、同、信、長、云、沙、茶、子、之、真、氣、各、心、一、く、風、家、入、け
う、く、つ、さ、り、而、も、考、て、を、あ、り、一、く、見、く、約、愛
と、ま、の、更、多、い、な、ら、ん、一、何、事、も、正、路、一、あり、
之、が、の、昔、同、信、長、云、乃、と、き、け、ひ、一、士、心、を、考、
あ、て、正、一、り、之、考、考、一、道、大、一、を、考、格、り、考、に
行、さ、く、考、考、考、考、考、考、一、也、考、考、考、人、に

十九山中若助傳記

二十八物語上

二十八物語下

二十二所建物并法車の

大旨記一の目録

秀吉の素生之事

善清の事

佐長と戦ひて秀吉を討つ事

秀吉の捕縛之事

お新平の事

旗本丁之事

秀吉の如來殿に参る事

大坂の陣に参る事

佐長と不用之説

事^{ツカ}侍^カ男^ノとて冬凍^{ヒヤ}去^ク温^{ヌク}と陸^ツて二十^ニ歳^ニある^ニ此^ノを
 以^テ國^ノ之^ノ臣^ト人^ト松下^ノ加^シ米^ノ村^トと云^フ一^ノ人^トよ^ク度^ヘ一^ノ他^ノよ
 是^レて用^ヘ所^トと叶^フ人^ト何^レと。或^レ時^ニ有^リ列^位長^云法^中中
 小^ノ一^ノ名^ヲあり^具足^甲や^カろ^クと^ト松下^ノ為^シ一^ノよ
 秀^者な^リと^尾張^國よ^ハ捕^皮筒^よ事^變の^胸丸^と
 て右^ノ之^ノ眼^ヲめ^ク念^伸縮^{自由}あり^とい^フと^トな^レて
 是^レを^用の^何ゆ^レら^リた^レと^トい^フと^ト具^足胃^買
 兼^て下^ノと^トて^黄金^五六^兩あり^とつ^つと^トり^秀
 者^道と^トい^フ思^ひあり^や一^ノ推^忘礼^節塵^忠美^謀
 畧^とと^ハ振^威名^持國^家ハ^勇士^と本^とと^トい^フと^ト所^也

所^詮此^ノ金^よて^文ま^と身^と成^へと^トい^フと^ト度^と賄^と
 天下^と大^悪と^ナらん^人と^トい^フと^ト勵^と父^と
 母^并親^族等^とと^撫育^一彼^筒丸^とと^調へ^つ
 松下^為し^一あり^と思^ひ先^天有^源叔^父の^名
 け^り。尤^も一^ノ人^トと^トい^フと^ト按^とる^とい^フと^ト貪^夫ハ^狗賊^ト
 と^云也^{。亦}ハ^是北^貪夫^とと^トい^フと^ト勵^と立^名と^トい^フと^トい^フ
 北^子附^妻雲^と士^馬能^為名^手熟^思あり^と信^とと^云也^{。亦}
 勇^とと^云也^{。亦}と^トい^フと^ト推^謀と^云也^{。亦}一^ノ信^とと^云也^{。亦}
 其^ノ氣^象愚^とと^トい^フと^ト北^愚大^子強^とと^トい^フと^ト云^也
 能^は方^も有^けと^トい^フと^ト實^ハ一^ノ人^トと^トい^フと^ト云^也

利をきめ百姓を慮シタテなとまらふ人とはさうかみ
 とおつり。此人必天下之主たる人。只信長は信
 韓カシ信シ濃ニ良の如く用ひし。時めよ出らる。且一行
 之眉目且一國家之輝ヒカ光と云ふ人なるも
 三つ。亦く思所は信シカス長一人と保たれ。おて刀服
 物衣服に至る迄。洞へ下。若者即秀吉と名乗
 て壘所之用とせし。せしければ其比信長は清
 洲に居在。故ありけり。永禄元年九月朔日
 直訴せし。其父は織田太和守。後より其統
 河原入道と云ふて。愛智郡中村之住人。よて信長

信代と云ふ。其姓をけり。もと云ふ。父の代よ。て
 家多分れ。其數小。よて方之使令。身と成
 て不能。通。其門。唯。新く。信。鹿。と。仰。奉。存。名。申
 上。し。信。長。は。皮。り。威。儀。立。翔。と。信。長。一。て。打。突
 せ。し。つ。作。多。の。輔。車。ハ。猿。子。も。似。し。り。心。も。煙。く
 見。え。の。氣。も。う。く。信。ん。と。て。彼。石。か。り。流。石
 原。子。な。れ。と。て。志。し。し。り。信。小。瓶。と。て。呼。び。ひ
 々。信。秀。吉。形。象。と。す。り。し。信。長。を。く。其。へ。家
 子。ハ。乃。ひ。ち。さ。し。り。を。お。り。人。と。を。付。て。用
 せ。し。と。さ。し。り。は。後。に。祈。り。く。し。り。被

尸けらる。或時同國大山城之を焼殺しして
 伝長公未だのし打お流す。馬も紫いさめは未だ有
 誰そと宣へい未だ有吉印秀吉とそ名乗ける
 そらら程へて時重乃為曉るこおとせはひ
 つ誰のあそと尋せしり進けるよ有吉印是ら
 候と答ふ所。敬上書に職者い必公庭に際ち
 とやしりて手取吉印の勅め実子にても有そ
 一と伝藏之伝気と一始てみるなり。お勤め
 行漸日と累日と終つて。お忠は忠用と
 奉承は子あしり。おと一に君の心徳を能

初て事なんり為臣上之把要と思ひ給ふは位
 名公之成以ひと足なり。嘗て一人も口懐に
 伺と一伺ふよ。あこはあに。弟一夫忠し
 勇才並備つて困柱もも立へる人。才二名士は
 忠義之志厚く物軍をも安く推包する力
 と有て。具顯負偏頗号ら多士才三或名者
 く業るり。裁判應直し。於軍中。この属の
 者也。お此るれ。お仲不受。乾叔之智。穢直不後
 景嬰之薦とん。こり。難し。お好る。お驕
 正。さす。早下。おせ。唯。有。の。ま。ら。る。と。毎

此近こし掛るる子拓綱子似たり。是よりれとぶ
 やきくろを何とくしりたり。信也と云きくろ
 猿め何と云そ何よりそと。可也九さまろの
 上義ありされい形露一居は信要子。是地子
 申之とてうひちを取て移らるめあり。乃
 まらに尸せえ病老丸を徳とる子。心あり。又
 尸さまの丸を何とけり。呼口は禰行な
 ことと世乃渡子傳へ一奉とありひわらりたり。
 唯有乃まろよ不尸の丸をりりんと自ひ。此城
 之城をくると世乃不徳行方此とて掛り

子よてい有まろくも。深城の墨全方敵國と并
 也平春天下せんとと名大おのく。心子やと所
 善徳なりを叱けり。尸上りれ。丸能る尸
 子々成武勇之志者志ハ此くそをな相とれ。此
 けり。一急振ありと被作付。くして病老の糸て
 申けら。此城之海下なり。之由りて。建らに
 及糸。其なり仕り。子建よ。出来作や。子と
 信院ま。おり。ま。けら。そ。考下。なり。大
 子堅く被り付。お。此。ゆり。由り。たれ。唯。南。色
 を新入糸能。子。心。ひ。は。と。各。被。り。たり。は。

此人之秀吉取立ありし一も生よけいん
は作らるる秀一うんや

○秀吉の賊を捕らふ

信忠云西美流よきてとて散向をそふと殺せ
て、永祿の末打ち消す其業スノニタ後
に陣取軍士救多軍營を宿衛シユウゴしつる内よ
つりして尺くしり久し福富おれ出射金龍
を面指失しつるそありしに雅楽を白有
り云殺海し。後吉秀をさうて云わ計よ
しりり。秀吉を神を尺あり以外怒りあり

誰と定めしむ一業やうしき。守らる一命と
あはれしむれど。勿論不耻小節を羞ハ功名不顯
天下將士をさしりれい可耻よありし。只酒後と
以波造人を救へ此冤証ムコウとくくさんよハ不恥
先賢ツクヤを方とるん。急津キツ津人此の富家
はよ。かうくのやうとと語りしつ。賢よまけ
は老あしと告知せよ。た七ありと黄金十萬マン
美し人妻方ウメく約束し。堀田松石忠尉と云家
家久一夫知人と云は。此ふを病とす。ゆ
の業ノノをおゆ。一原は造人の業か。ういをお

盗人との行尸に子。家業はかりて之を變シ子とす。其の
 とて来りてを。吾難とて。人其を疑シり
 也。一法に。しるし。陣中を。川に。て。手。後。行。張
 きたり。後。さん。と。ほ。是。ま。ま。し。百。連。来。て。他。の。唯
 加。後。之。疑シ。子。あ。し。り。す。と。偏ヒ。子。身。乃。變シ。行。る。所
 と。高。之。不。覺。後。色。と。ら。り。り。由。り。と。一。久。
 片。出。り。と。响ヒ。と。し。り。す。日。來。り。指。か。と。と。作ル。一
 お。や。さ。し。夫。乃。と。長。結ス。君。惡。進。善。と。中。の。一。あ
 有。音。即。項キ。我。為。子。也。子。あ。し。り。す。と。一。顧ル
 時。と。と。後。云。一。と。矯。化。唯。忠。義。と。あ。り。と。一。と。

思ふ己の生業ヒシとて。一とて。旁カ。以。喜。し。思。百。波
 應ホ。衣。美。之。愛。金。并。百。老。之。地。と。思。湯シ。一。と。つ。り。是。福
 の。子。始。と。て。業サ。の。身。と。成。一。内。か。り。り。後。於
 一。と。夫。人。の。日。痛。懷。中。よ。入。と。多。之。太。子。と。誕タ。生。一。
 一。天。下。之。主。と。て。武。帝。と。云。は。し。一。と。我。於。之。秀
 者。也。也。逢。逢。月。以。弟。子。應。奉。之。孫。政。國。白。之。訓ト
 礼。と。極。め。て。下。を。舒レ。安。一。と。於。り。位。正。一。位。
 豊。國。大。の。神。と。祝。也。一。と。只。為。於。之。宿。因。と。一。と。ハ
 此。一。と。後。よ。こ。り。是。し。一。と。

号不痛やうは價と書き人なき方仕ける。固てそ
 こは貸と書き一々り。そ後存者印と云ふか
 油と書き^{ナチ}なり。今んと云ふ人ハ、定は驢馬を
 墮申す。昔一め大杖と云ふは、用ち一
 ごと威^{ミウ}申す也。おひつて。夫なりは、後祿付たり
 深日誰と己之方より引下て、職と書き^{シヨク}、持あり。討ハ
 主と相存心内は、相さ一、終りそ心おきあり
 くれ也。身と書き存より一、与き物之、終りそ秀
 者ハ、何と云ふなり也と云ふ。是等之、課と云ふ
 勤^{チカ}めらむし一人也

○秀吉薩軍と信長と截打給ふ

其後秀吉業と云ふなりと能勤めたり。以信長
 美濃國子桑向一、あふ折る人ともなれぬ。薩と云
 へば、存志あり。誰と云ふは、あふは、是も下
 存者印、秀吉の標なりと受け、是ハ、誰の
 たりと云ふ。一と云ふ。以介怒つて、統子、薩軍と云
 け、也。所ひらる。誰か怒り、色もあく。あをけ、後
 一と云ふ。あふ。元元亮の八陳之法と能好。奇心進退
 自由と云ふ。一、常と能、あふ人とも云ふ。一、西施の
 贖子、教子、信長と濃列、西方大取と、好史、常と、教

侍より御陣一好ひたり。か様より遂に越率^シ方力
一救交之合戦子利を好あふと云先功臣^シ地
を割^ハふ城を新^アは其功未^ク有^ルと云子好一好
ひ也

○為吉之難一命於敵國成要客之主^ト也

或時信長心志良と云^ハ衆^ハ評^ハ決^シあふや一善濃
國子打越^ル度^ニ難^ク宿^ル藉^ハ敵^ハ痛^クむ^ルと云^ハな
く却て兵氣^ハ挽^キ軍^ハ勢^ハ成^リて成功あり。惣^ハ名^ハ川
向^テし要害^ニを據^ル勢^ハを入^レ至^ル謀^ハ計^ハを^テ一戰^ハ功^ハを
願^フ一國^ハ平均^ニし治^メ各^ハ救^ハ幸^ニ之^ハ勞^ハ力^ハを安^クん^ト

忠勤^トと報^ハせんと思^フし一^ハあ^ハんと^ハ空^ハに^ハ何^モな^リ一
戦^ハ功^ハ成^リて敵^ハ國^ハ服^ス一民心^ハ帰^ルや一し^ハ信^ハ長^ハ計^ハ謀^ハを
と^リ上^リげ^ルに^ハ信^ハ長^ハの^ハ兵^ハ氣^ハ色^ハを^テ一^ハて^ハ誰^ハと^ハ其
物^ハを^テ一^ハ定^メ要害^ニを^テ據^ル一^ハと^ハを^テ一^ハあ^ハふ^ハ。何
と^ハ越^ルの^ハ者^ハ任^トと^ハ云^ハ人^ハが^ハり^ハり^ハ。良^ハ有^ルて^ハ有^ル者^ハ即^チと
石^ハ要害^ニを^テ一^ハあ^ハふ^ハと^ハ守^ルつ^ハ。信^ハ長^ハ合^ハふ^ハら^ハる^ハ
一^ハ輝^ハる^ハ不^レち^ハあ^ハく^ハ信^ハ長^ハ一^ハと^ハを^テ一^ハと^ハ上^リて^ハ一^ハ也^ハ。國
よ^ハ一^ハ救^ハ討^ハ盜^ハを^テ一^ハと^ハを^テ一^ハ中^ハ一^ハ能^ハ兵^ハ先^ハ多
く^ハ。惣^ハ名^ハ藤^ハ末^ハ柏^ハ野^ハ村^ハ姓^ハ秦^ハ川^ハ小^ハ橋^ハ守^ハ山^ハ根^ハ上^ハつ
と。并^ハし^ハ小^ハ方^ハ之^ハ川^ハ海^ハ子^ハ付^テて^ハ一^ハと^ハを^テ一^ハと^ハ記^ス一

即、子壽子之出、おぼろしく至る、其制也、云

定

一、度於義濃地、藩末、無由、勤め、功を、屬、之、其、兵
 減、深、を、記、一、付、可、之、位、を、其、種、市、或、感、状、或、息
 考、之、位、を、記、一、付、之、其、事、
 一、不、算、上、下、付、補、雜、兵、之、首、志、を、以、為、禮、義、新、兵、者
 之、士、之、者、を、首、志、を、以、為、禮、義、新、兵、者
 建、之、其、事、を、記、一、付、之、其、事、

一、藩、下、之、兵、力、打、之、者、名、別、を、記、一、付、可、之、其、事、

一、敵、城、假、令、謀、略、を、以、攻、取、勿、論、及、各、我、兵、隊、を、以、

て、以、以、其、城、主、を、以、以、作、付、之、其、事、

一、起、以、者、ハ、勇、力、無、備、之、を、量、寛、大、に、以、以、之、其、事、

一、法、務、署、之、事、を、附、之、其、事、

一、千、方、才、一、之、嗜、ハ、無、依、怙、負、其、負、士、卒、上、下、之、實、を、以、

情、を、以、以、之、其、法、務、署、之、事、を、以、以、之、其、事、

一、正、士、ハ、不、能、偽、人、也、を、以、以、之、其、事、を、以、以、之、其、事、

一、方、裁、判、不、明、を、以、以、之、其、事、を、以、以、之、其、事、

一、善、法、未、無、由、勤、め、之、事、を、以、以、之、其、事、

一、敵、兵、と、親、密、を、以、以、之、其、事、を、以、以、之、其、事、

一敵地よとして能く兵を以て合^{フク}て國をなす
 能くあ^{コト}る中^{コト}に呼^{ヨビ}ぬ可^ルき也^{ナリ}
 一う強^{ツヨク}た^シ兵^ヲ具^ヘて不用^ニあら^ズ村^ノ村^ノ不^レ知^ル言^ハす^ル
 一^{コト}中^ノ地^ノ也^{ナリ}

一^{ホウヒ}當^ル處^ニに^テ應^ジ美^シく^シあ^リ料^ニ足^ラず^ニ中^ノ實^ヲ也^{ナリ}
 用^フ次^ニ才^ヲ用^フ也^{ナリ}

一火^ヲに^テ用^フ心^ヲ未^ダゆ^ク有^リ也^{ナリ}

一^{セウブ}法^ヲ據^リて^シ争^フく^ルを^シ得^ル也^{ナリ}

一敵^ヲ方^シす^ル者^ハ若^シ知^ルる^者よ^ク也^{ナリ}
 一^{オモク}小子^ノに^テ後^ニに^テ感^ズる^者多^ク也^{ナリ}
 一^{セハレ}武^ノ力^ヲ之^ヲ嗜^ム也^{ナリ}

如^ク神^ノ子^ノ也^{ナリ}
 一敵^ヲ付^ヘ入^リて^シ有^リて^シ物^ヲ知^ル也^{ナリ}

一^{ハタラ}敵^ヲ付^ヘ入^リて^シ有^リて^シ物^ヲ知^ル也^{ナリ}
 一^{ヨク}敵^ヲ付^ヘ入^リて^シ有^リて^シ物^ヲ知^ル也^{ナリ}

右^ノ条^ノに^テお^シり^テ此^ノ方^ノに^テ勤^ム寛^ク容^レ大^ニ成^ル也^{ナリ}

評^ハ日^ノ秀^吉之^ノ生^シ稟^シ嚴^シ急^シ也^{ナリ}
 一^{キウ}功^ヲと^シ勤^ムめ^ル也^{ナリ}

一^{セイ}功^ヲと^シ勤^ムめ^ル也^{ナリ}
 一^{セイ}功^ヲと^シ勤^ムめ^ル也^{ナリ}

一^{セイ}功^ヲと^シ勤^ムめ^ル也^{ナリ}
 一^{セイ}功^ヲと^シ勤^ムめ^ル也^{ナリ}

一^{セイ}功^ヲと^シ勤^ムめ^ル也^{ナリ}
 一^{セイ}功^ヲと^シ勤^ムめ^ル也^{ナリ}

一^{セイ}功^ヲと^シ勤^ムめ^ル也^{ナリ}
 一^{セイ}功^ヲと^シ勤^ムめ^ル也^{ナリ}

一^{セイ}功^ヲと^シ勤^ムめ^ル也^{ナリ}
 一^{セイ}功^ヲと^シ勤^ムめ^ル也^{ナリ}

一^{セイ}功^ヲと^シ勤^ムめ^ル也^{ナリ}
 一^{セイ}功^ヲと^シ勤^ムめ^ル也^{ナリ}

大將ハ蜂須賀小六賢治田集人依後平之勢百餘
 計ヲ勢ある者人城内ヲ鉄炮チカ守り。此大將ハ大將
 御也者車チカひ一チカ手楯ホテ保人トお定め案内志
 三人之内人質シチ之為主也。おり一一人ハ止り以
 其敵下シチ志シチ小事あり。其方と案内志シチして
 ゆいんと。有者我我中一一人傷心もなう。ゆい
 たり。夜半之此少シチ當て在案二三万焼かたり。
 鉄炮チカ之者もせと。又人者もせり。其是ハ橋田中
 一一人之仕合可シチく有シチ一一人一一人。其方と
 外物音さシチ一一人成かシチ一一人。大將御青山小御松

明シチと以シチ逆シチハ五六町トかけ逆ハ。其付シチ者九一人
 一一人。其首十三并分捕條多シチ一一人。其方と
 吾おり一一人。悦つて各苦勞シチ之至謝シチする。其方と
 一一人。其死と煙シチ一敵と擒シチする。其方と
 一一人。其責シチを驛シチ一一人。其信シチ之ハ勅シチ之。其方と
 一一人。其首付給シチ一一人。其首十三人。其方と
 謹而奉言上シチ

昨日ハ冒從シチ口平抄シチ子孫シチ之家。其方と
 其強付入シチ之。其方と
 其方と

之夏門入之衆唱凱歌カイカ以弓銃炮神送而饋テ
降中依此處蓋平之志在昨夜於敵之使入
付諸多物供者五人并付輪首十三遺上申依
可於松浦披露所伴依恐之謹言

本下有吉部

九月廿五日

秀吉

福富平兵衛門尉教

打并取之ゆ教

五人其方披露有一二人夏外此機雖能存吉部

物初より一とて。此打鐘は松首之銃炮を以下
誰タともしは教五一とされたり。秀吉は東より
進一し。此家心懐たり。對之志在。よも所對面
て。此鷹ホウと一。采拾石免ら下。五人之志在。よ
此志を初り。此知中。要つて免アラフなり。よ
或曰。其志。十石。免。水。以。之。百。石。不。と。も
二。と。も。と。なり。

指田大煙船と度々さつ一トウ小百一トウ之方。此感有
て。此流書。以。尚。服。被。下。たり
評白。此。之。感。を。國。主。に。送。く。可。者。吟。味。す。如。信

賜移と心とくまを〜あてぞ〜返す〜
 諺曰秀吉刀服指をわき出〜
 笑よ成あの上心本〜
 此其のふ〜情も〜大澤〜
 こす〜も〜
 と〜其心用〜
 長秀事下有者命秀吉〜
 是信厚〜
 則國之家威身死嘗〜
 盟晋文公不負原之約〜

全信仲男犯之有信友也秦孝公雖富國并
 地強兵而高鞅倍以子卯之曰息詐三軍之
 衆而身死車裂此唯強而無信故也秀吉
 卿且雖降君命專存信而欲使君霸于
 天下之基也嗟可謂敬君知道之忠臣也
 蓋如尾生之信斯即漢儒之中而已
 一秀吉と終〜
 將軍義昭公之系〜
 之段〜
 二十九

フ
ロ
ネ

